



雇用と人材育成

従業員は最も重要な財産の一つと考えています。

人事に関する基本的な考え方

TDKでは「企業永遠の繁栄の源泉は人の育成にある」という人事の基本理念のもと、従業員一人ひとりが個人として尊重され、自立的かつ最大限に能力・可能性を伸ばし発揮できる「環境」と「仕組み」のために様々な施策を進めています。

人事制度の概要

人事制度の根幹となる評価・報酬制度は、「発揮能力」と「成果」に着目した「自己管理制度」を基礎としています。2005年度には定期昇給制度と賞与支給方法を見直し、従業員個々の成果に結びついた報酬体系への改訂を行い、モラル・モチベーションアップを図りました。

人事諸制度について

- 社内人材の活用とキャリア形成の機会を提供する「アクティブ社内公募制度」
- 従業員自らが希望する部門・職務に異動するチャンスを得られる「キャリアオプション制度」
- 重要テーマを担うキーパーソンのモチベーション向上を目的とした「プロジェクトマネジャー年俸制」
- 従業員一人ひとりのキャリア開発、能力開発のサポートを目的とした「自己申告制度」

能力開発・育成プログラムについて

■2006年度 新教育研修プログラム

早期選抜育成プログラムに加え、将来の経営幹部候補として必要となる経営の基礎知識を体系的に習得する「新任主幹研修」などを導入しています。

■製造リーダー教育

製造力の強化、技能の伝承を図ることを目的として、2005年より製造リーダー教育をスタートしました。

■技術リーダー教育

「ものづくり」を研究・開発の視点から追及し、革新的な技術リーダーを育成することを目的としています。

■海外大学への技術者派遣（共同研究）

アメリカのマサチューセッツ工科大学等への技術者派遣を行っています。

環境の整備

■人権尊重・機会均等への取り組み

2002年に企業倫理綱領を制定し、役員・従業員の重要な行動基準としています。また、従業員への啓発教育の実施、専用相談窓口の設置、育児・介護に関する諸制度の整備を実施しています。

■障害者雇用

「障害者が働きやすい職場づくり」「採用目標数の設定」等、具体的なアクションプランを策定し、実行しています。

■セカンドライフ選択制度（TDK再雇用制度）

定年退職者を複数のコースで再雇用するセカンドライフ選択制度を導入しています。国内外の関連子会社においても、定年退職者の再雇用を実施しています。



■留学制度

業務上必要なプロフェッショナル人材の育成を図るため、留学制度を設けています。

■IMD (International Management Development Seminar) 研修

国籍を超えた連携の強化を主目的とした研修です。

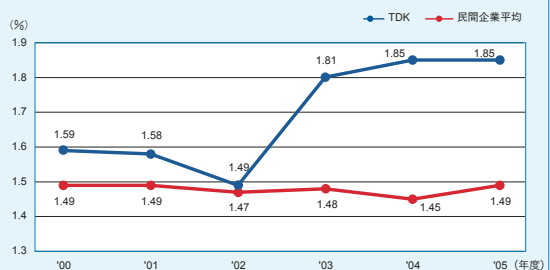
■主な能力開発支援制度

資格取得奨励制度、通信教育奨励制度を実施しています。



障害者雇用率の推移 (TDK本体)

※TDK雇用率は各年度末実績



お客様との関わり

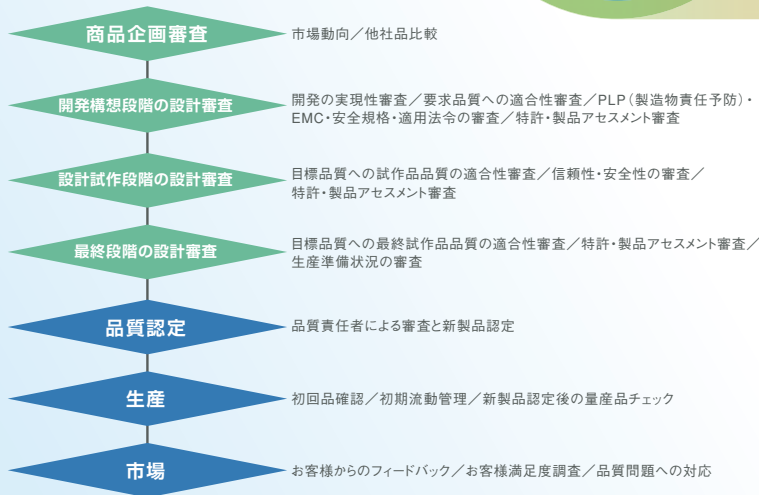
グローバルな品質保証活動を展開しています。

TDKの考える品質保証

TDKでは品質保証の基本理念として"Complete Customer Satisfaction"を掲げています。これは「世界中のどの拠点で製造されたTDK製品も、まったく同じ品質であること」「品質は、全世界のあらゆる市場の要求に応える国際水準ナンバーワンであること」「他のお客様にも紹介したくなるほどの品質であること」を意味しています。この基本理念を製品として実現するために、品質保証活動を展開しています。



TDKの開発・量産化の品質システム



品質保証システム

TDKが生産する製品は、世界各地域を問わず、法令・規制要求事項やお客様要求事項を踏まえ、TDKの品質システムに基づいて設計・生産され、品質保証されたものです。安全性、信頼性、環境安全については、TDKの基準・規程を制定し、その徹底を図っています。

電子部品におけるCS(お客様の満足)活動

電子部品については、多様なお客様に対し、次の3つの方法で「お客様満足度」を把握しています。

- お客様が実施する「サプライヤー評価情報」を設計にフィードバック
- 「製品苦情」情報を苦情情報データベースで管理し、関連部門に連絡
- 営業担当がお客様の「CS評価」を把握して関連部門に報告

記録メディア製品におけるCS活動

TDKは、一般消費者の方々を対象に、記録メディア製品に対する貴重な意見や要望、質問等、あらゆる相談に迅速に誠意

をもって対応できるよう、TDKカスタマーサービスを始め製品ごとにサポートセンターを設置しています。

取引先との関わり

パートナーシップを大切にしています。

グローバル・パートナーシップ購買

TDKは、日本およびアジア・アメリカ・ヨーロッパに生産拠点を置き、グローバルに生産活動を行っています。これを支えるには、グローバルな購買体制の確保が重要です。そのため、取引先と時間と空間を超える一層緊密なコラボレーションが不可

欠と考えています。また、関連法令、社会規範を遵守し、企業の社会的責任を果たす取り組みについても、取引先と当社のパートナーシップによって積極的に推進していきます。

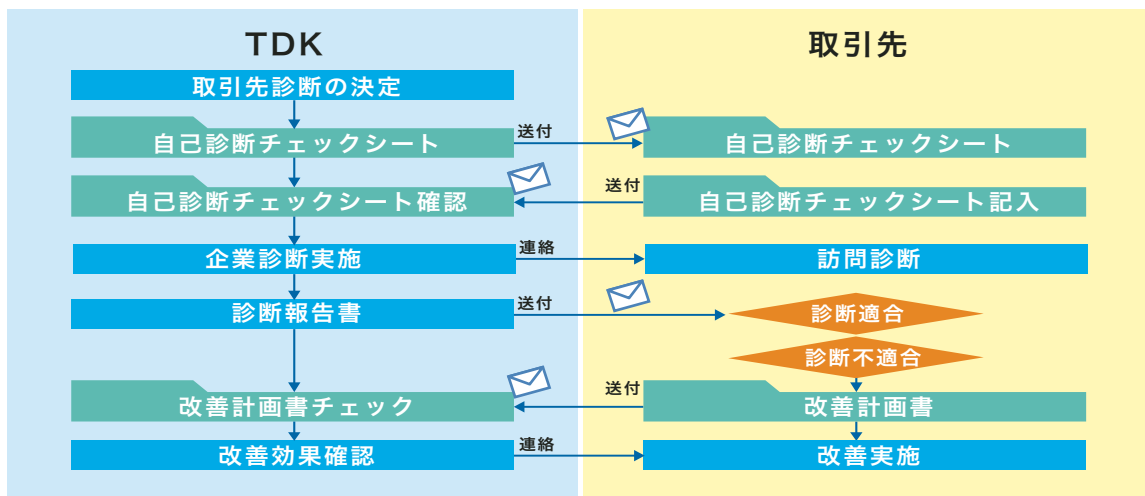
TDK購買方針

- 購買活動にあたっては、関連法規を遵守します。
- 構成員の人的尊厳が重視されるよう務めます。
- 環境に配慮した物品の調達(グリーン調達)を推進します。
- 企業規模、国籍を問わず公平・公正に取引を行います。
- 取引先との間には、良好なパートナーシップを築くことを目指します。
- VE活動のできる取引先を重視します。
- IT、ネットワークを活用した取引先との情報交換を推進します。

企業診断

TDKでは、部品を購入している取引先の企業診断を実施しています。診断結果とともに必ず改善していただきたい「是

正依頼」と改善に関する「要望事項」を取引先に提出し、対応を求めています。



グリーン購入

TDKでは、取引先の環境管理状況及び購入資材に関する調査を行い、グリーン調達を進めています。RoHS指令等の世界各国の法律を遵守し、お客様の要求に応えるために改訂を実施し、当社のホームページに公開しました。また、グリーン調達基準書Ver.3を発行し、すべての取引先に配布しました。



社会貢献活動

企業市民としての活動に積極的に取り組んでいます。

理念と方針

企業市民の一員として社員一人ひとりが社会貢献への高い意識を持ち様々な活動を行うことで、健全で豊かな社会の発展に貢献します。また、「学術・研究／教育」「スポーツ／芸術・文化」

「環境保全」「社会福祉・地域社会の活動」の4分野について、積極的な活動をグローバルに行います。

「学術・研究／教育」分野における取り組み

さまざまな大学の各種研究室に対する助成金援助、海外有力大学との産学共同プロジェクトなどのほか、子どもたちに科学の楽しみやものづくりの醍醐味を教えるものづくり工作教室も各地で行っています。その他、国内外の主要拠点では、学生や教員の工場見学、職場訪問などにも協力しています。



やってみよう！電子工作教室（甲府工場）



台湾ロボットコンテスト（TDK Taiwan Corporation）

「スポーツ／芸術・文化」分野における取り組み

世界三大スポーツ大会の一つである「世界陸上選手権」に1983年の第一回大会から男子ゼッケンスポンサーとして協賛しています。1997年からは欧州において、世界的に芸術性の高い名演奏を修復しデジタル保存するプロジェクトに取り組んでいます。さらに、2001年からはTDKオーケストラコンサートとして、世界の一流オーケストラの日本公演に協賛。楽団員に学校へ出向いて演奏してもらうアウトリーチ（出張）プログラムも行っています。



有名陸上選手による訪問指導
（フィンランド・ヘルシンキにて）



TDKアウトリーチミニコンサート
（東京・日本橋中学校にて）

「環境保全」分野における取り組み

従業員による事業所周辺の清掃、隣接地域の美化運動、植樹による緑化など、地球環境と共生を目指した様々な環境保全活動にも地道に取り組んでいます。



Adopt a mile（1マイル清掃）
（TDK Components U.S.A.）



TDKブナの森に植樹（秋田地区）

「社会福祉・地域社会の活動」分野における取り組み

福祉施設でのボランティア活動、車椅子やヘルマークなどの寄贈活動、チャリティウォークやチャリティマラソンでの募金活動、そして地域との国際交流などを実施しています。



従業員が集めたアルミ缶で車椅子を購入し、
市に寄贈（TDK由利本荘株式会社）



チャリティウォーク（TDK Electronics UK）

コーポレートコミュニケーション

正確かつ迅速な情報発信を行っています。

広報活動

社会が必要としている情報を公平かつ適時に開示することを基本方針に、ニュースリリースの発行や取材対応および記者発表などを行い、正確で透明性の高い情報を発信することを心掛

けています。また、ステークホルダーの皆様からご意見をいただくための、さまざまな取り組みを行っています。



アニュアルレポート、インベスターズガイド



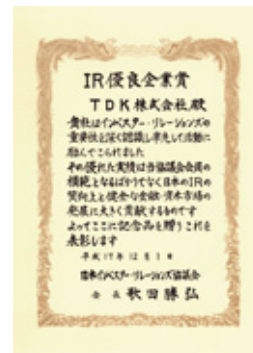
会社案内



電子部品モノ語り

IR活動

当社は、ステークホルダーの皆様にも、経営情報、財務情報などの重要な会社情報を、積極的に開示することを基本方針とし、国内外の証券取引関係法令などを遵守し、正確、公平かつ適時に、会社情報を発信しています。当社のホームページでは「株主・投資家情報」コーナーを設置し、経営方針、財務・決算情報など投資家に有益な多くの情報を掲載しています。当社は、業績を投資家に積極的に開示するために、毎四半期決算説明会を開催しています。決算説明会の模様はインターネットを通じてライブ配信し、外国人投資家のためには、英語の同時通訳を付け、情報格差の是正に努めています。また、決算説明会および、株主総会の模様をビデオ録画でも提供することにより、発信情報の充実に努力しています。



IR活動に積極的に取り組み、株式市場関係者の高い支持を得るなどの優れた成果をあげた企業に贈られる「IR優良企業賞」(日本IR協議会)を受賞(2005年12月)

社会的責任投資への対応

社会的責任投資(SRI : Socially Responsible Investment)に関する各種調査機関に対しても積極的に情報開示を行っています。SAM社(スイス)とDow Jones社(アメリカ)が開発した世界的に有名な社会的責任投資インデックス(株価指数)、「DJSI : Dow Jones Sustainability Indexes」や、日本の社会的責任投資株価指数であるMS-SRI(モーニングスター社会的責任投資株価指数)の構成銘柄に組み入れられています(2006年3月現在)。

